

第7章 「非感染性」疾患…さらなる医学的誤解

▼「感染性」と「非感染性」という分類	13
心血管系疾患	18
▼フリーラジカルと酸化ストレス	20
▼多種化学物質過過敏症	22
▼物質を「有毒」にするのは用量だけ？	25
電磁波過過敏症	27
▼メラトニンへの悪影響	31
▼軍部と産業界の都合で……	32
▼湾岸戦争症候群	33
▼無視し続ける医学界	36
▼自己免疫疾患	37
▼毒物が炎症を起こす	39
糖尿病	42
▼精製糖は避けるべき	44
▼多発性硬化症	46
▼やはりアスバルテームの害か!?	48
▼ギラン・バレー症候群	50
▼ワクチン投与で誘発か!?	51
アレルギー	53
▼免疫に関する誤った考え	54
▼毒素への長期間曝露	57
▼ピーナッツアレルギー	58
▼農薬汚染のピーナッツ	60
湿疹	61
▼皮膚病とは毒物刺激のしるし	63
喘息	65
▼毒物↓副腎↓喘息	68
関節炎	70
▼関節炎は毒物過負荷の結果！	71
▼内分泌の病気・疾患	74
▼正常な機能を妨害する「治療」	75

- ▼ サリドマイドの薬害で奇形胎児 77
- ▼ 化学物質で内分泌系が乱れる 78
- ▼ 電磁波も内分泌系に悪影響 82
- 出生時障害 83
- ▼ 化学物質の悪影響 85
- ▼ メタノール、水銀の催奇形性 87
- ▼ 「小頭症はウイルス感染」の誤認 89
- ダウン症 90
- ▼ フリーラジカルでダウン症に!! 92
- 二分脊椎症 93
- ▼ 葉酸だけの問題か? 95
- ▼ 抗てんかん薬の副作用 95
- 乳幼児突然死症候群 97
- ▼ ワクチンによる内的ストレス 98
- ▼ ワクチン接種が「引き金」に 100
- ▼ セロトニンとメラトニンの相互関連 102
- 自閉症 103
- ▼ なぜ増加し続ける? 104
- ▼ 問題を悪化させる国連の政策 139
- ▼ 開発という名の資源搾取 141
- アジェンダ21 142
- ミレニアム開発目標 (MDGs) 144
- 持続可能な開発目標 (SDGs) 145
- すべての人に健康と福祉を 146
- ▼ 医療援助で健康という錯誤 147
- ▼ すべての人に薬を 149
- ▼ 薬の組み合わせによる害 150
- ▼ 安価な医薬品で問題解決!? 153
- ▼ すべての人にワクチンを 155
- ▼ ワクチンの成果でなく有毒反応 157
- ▼ ワクチンメーカーにとっての好都合 161
- 伝染病 163
- ▼ 発展途上国の統計に不備あり 164
- ▼ 肝炎 165
- ▼ 肝毒性の医薬品もある 168
- ▼ インフルエンザ 170

- ▼ 精神科治療薬の害 106
- ▼ 水銀で脳に「配線ミス」 108
- ▼ アルミニウムによる神経変性 109
- ▼ 米ワクチン法廷の裏側 111
- ▼ 毒性物質を軽視するWHO 113
- ▼ 電磁波による自閉症の可能性 116
- がん 118
- ▼ がんは近代的な病気 120
- ▼ 「がんとの戦争」の真の狙い 121
- ▼ 「遺伝子」はがん発生と無関係 122
- ▼ 工業化でがん増加 124
- ▼ 日用品からも発がん性物質 126
- ▼ 電離放射線と白血病 127
- ▼ 異数性とがんの関係 131
- ▼ 「転移」という欠陥理論 132
- ▼ 「治療薬」より「解毒」が必要 134
- 第8章 世界的問題…より広い視点から
- ▼ アスピリンの普及 171
- ▼ インドのインフルエンザ死の真相 172
- ▼ 恐怖の伝播を利益にする 173
- ▼ HIV/エイズ 175
- ▼ 妊娠でHIV「偽陽性」になる 177
- ▼ 「HIVと共に生きる」必要なし! 178
- ▼ 在庫処分の農薬を途上国へ 181
- ▽ 結核 182
- ▼ 「結核菌」を「殺菌」する? 184
- ▼ 「最も甘い毒」精製糖の害 186
- ▼ マラリア 187
- ▼ 「マラリア蚊」が存在した? 189
- ▼ 蚊自体は絶滅していないのに… 191
- ▼ 「感染」ではなく「汚染」の結果だ 194
- ▼ キニーネは特効薬ではなかった 197
- ▼ ワクチンが根拠とする「免疫反応」 200
- ▼ 寄生虫をスケープゴートにする「マラリア理論」 202
- ▽ 顧みられない熱帯病 202

▽ハンセン病 204

▼白斑は化学物質曝露では？ 205

▽寄生虫関連疾患 207

▽トリパノソーマ症 209

▼金鉱山労働者の水銀曝露 211

▽リーシュマニア症 212

▽住血吸虫症 214

▼寄生虫より生活環境に注視せよ 214

非伝染性疾患 (NCD) 215

▼加工食品や精製糖による糖尿病 218

▽精神的健康 (メンタルヘルス) 220

▼薬物的アプローチに頼る精神医学 222

リプロダクティブ・ヘルス (生殖に関する健康) 223

▼マルサス「人口抑制論」の呪い 224

▼性行為で感染する病気なし！ 226

有害化学物質 227

▼未検証のままの化学物質 230

▼「管理」すれば安全という嘘 231

産業と開発 234

▼インドは「発展途上国」？ 235

▼環境悪化を「感染症」と誤認している 237

▼有害物質を発展途上国へ移転 240

▼有害な電気電子機器廃棄物 241

貧困 243

▼「貧困」の統計的な定義とは 244

▼「細菌論」への信仰を捨てよ！ 246

▼IMFと世銀の政策も健康に悪影響 248

飢餓と栄養失調 251

▼医療者の栄養に関する無知 254

▼現実の飢餓と幻想の欠乏 256

農業と食料安全保障 258

▼「緑の革命」で農家はズタズタに 261

▼植民地支配の屁理屈 264

▼IMFの市場開放の裏では…… 266

▼「工業的農業」より「エコロジー農業」へ 269

清潔な水と衛生 270

▼「細菌」でなく排泄物汚染の水が原因 272

▼「安全な水」でなく「きれいな水」を！ 276

### 第9章 既得権益と支配のアジェンダ

▼「国連」という幻想 281

▼国連を通じた米国の世界支配 282

▼「グローバル化」の既得権益 284

富、権力、影響力 287

▼税金で戦争ビジネス 289

▼市場開放は米国企業のため 291

▼石油は化石燃料ではない！ 293

▼国民より企業利益を優先 295

グローバル化と支配アジェンダ 297

▼「人口抑制」の必要はない 300

▼「緑の革命」は企業のため 301

▼「新世界秩序」という「既得権益」 302

▼投資家のための国連!? 304

▼「グローバル経済」の嘘八百！ 306

234

235

237

240

241

243

244

246

248

251

254

256

258

261

264

266

269

270

308

310

311

313

315

316

319

321

322

323

324

326

328

330

332

334

337

341

欺瞞の流布

342

▼騙され続ける一般市民

345

▽PRとプロパガンダ

348

▼薬で健康という勘違い

350

▼恐怖によって従わせる

352

▼「専門家」からの嫌がらせ

354

▽慈善と第三セクター

355

▼貧困の原因は「お金のシステム」

358

▼健康リスクが無視されている

360

▼ビル・ゲイツ、人口削減を語る

363

▼「工業的農業」は誰のため？

364

▽メディア

365

▼ジョージ・ソロスが「事実」を決める!?

366

▼はしかは排毒反応

368

▼エボラ出血熱も鉍害か

371

第10章 病気の原因の本質

▼技術は改新されても……

377

▼現代医学の根本的な欠陥

377

▼誤った信念への固執

378

「病気」の本質

380

▼実験データは疑問だらけ

381

▼「オッカムの剃刀」で単純に考えろ

383

▼遺伝子は運命ではない!

384

▼多剤併用による薬害

386

▼ナチュラル・ハイジーンの思想を見直せ

388

▼病気は機能、症状は反応

390

▼酸化ストレスに注目せよ

392

▼因果関係を誤認するな!

394

▽フィットネスとエクササイズ

396

四つの要素

400

▽①栄養

402

▼医師は栄養学の理解不足

403

▼コレステロールの真実とは

406

▼植物をミネラル源とせよ

409

▼還元主義的アプローチの間違い

412

▼人間は「肉食動物」

416

▼水をどれだけ飲むべきか

419

▼蒸留水や果物、野菜について

421

▼「果食」のすすめ

421

▽②毒への曝露

422

▼毒の定義を見直そう

423

▼病気ではなく毒物排出の働き

426

▼「薬のおかげ」と勘違い

427

▼殺虫剤の有害性

429

▼有害物質曝露を減らそう

432

▼「ナチュラル」の売り文句にも注意!

434

▼日用品も毒だらけ

436

▽③電磁放射への曝露

438

▼心臓に悪影響!

439

▼脳に直撃!

441

▼身体の電気は直流

444

▼アーシングが有効!

446

▽④ストレス

447

▼現代医学の根本的な欠陥

377

▼誤った信念への固執

378

「病気」の本質

380

▼実験データは疑問だらけ

381

▼「オッカムの剃刀」で単純に考えろ

383

▼遺伝子は運命ではない!

384

▼多剤併用による薬害

386

▼ナチュラル・ハイジーンの思想を見直せ

388

▼病気は機能、症状は反応

390

▼酸化ストレスに注目せよ

392

▼因果関係を誤認するな!

394

▽フィットネスとエクササイズ

396

四つの要素

400

▽①栄養

402

▼医師は栄養学の理解不足

403

▼コレステロールの真実とは

406

▼植物をミネラル源とせよ

409

▼還元主義的アプローチの間違い

412

▼無視される不顕性毒性

449

▼精神薬は不適切

451

▼認知症の原因とは

452

▼環境汚染物質こそ要因

454

結論として——自然に健康になる方法

457

訳者あとがき——人類史上最大の

詐欺につながる現代医療(字幕大王)

461

▼現代医療の誤りは故意である

462

▼病気の真の原因とは

462

▼既得権益に忖度している

463

▼毒物に負けて「がん死」する

464

▼「コロナ騒ぎ」も同じ手口

464

▼現代医学とはカルト宗教

465

▼嘘を流布するメディア

465

▼デジタル技術による人類の完全奴隷化

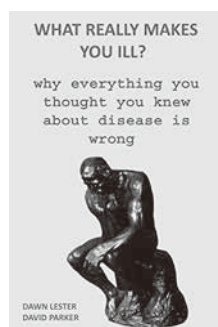
466

▼でっちあげの「国民的合意」

467

WHAT REALLY MAKES YOU ILL?  
Why Everything You Thought You Knew About Disease Is Wrong

Copyright © 2019 by Dawn Lester & David Parker  
Japanese translation rights arranged with Dawn Lester and David  
Parker  
through Japan UNI Agency, Inc.



Copyright © 2019 ドーン・レスター&デビッド・パーカー

無断転載を禁ずる。この出版物のいかなる部分も、著者への事前の書面による許可なしに、複写、記録、その他の電子的または機械的な方法を含むいかなる形式または手段によっても、複製、配布、または送信することはできない。ただし、批評の中での簡単な引用や、著作権法で認められるその他の非商業的な使用の場合はこの限りでない。

**免責条項：**21世紀初めの医療は、ほぼ完全に「既得権益」に支配されており、その主張としては、彼らのシステム、つまり「現代医療」のみが本物の医療形態であり、他すべての形態は疑似科学か偽医療と見なされる。この支配の結果として、本書の著者である我々は、以下を声明すべき法的義務を負う。つまり、我々は医師ではないことだ。加えて、これも宣言せねばならない、その中身はプロフェッショナル、信頼できるソースから得たものだが、本書は情報的ガイドにすぎない。その核となる目的としては、人々自身の医療について本当に情報を得たうえで決断をしてもらうことだ。

本書をすべての真実追求者に捧げる。

「誤りは何度伝えられても真実になることはなく、誰も見ないからと言って真実が誤りになることはない」  
マハトマ・ガンジー

「権威に対する無批判の信頼は真実の最大の敵である」

アルバート・アインシュタイン

▼ テクノクラシーの行く末	467
▼ 「持続可能な開発目標」の裏側	468
▼ 監視するための実験として	469
▼ 人類史上最大の詐欺	470
推薦——体は常に最善の反応をしている（中村篤史）	473
文献一覧（1）	
リファレンス（5）	
著者について（52）	

「上巻 目次案内」

原書まえがき——「現代医療」は根本から狂っている  
翻訳にあたって（字幕大王）  
第1章 病気への処方箋…健康のために死ぬ  
第2章 ワクチン接種…効果がなく危険  
第3章 細菌論…致命的誤り  
第4章 「感染症」…神話を一掃する  
第5章 動物と病気…さらなる医療神話  
第6章 地球を毒する…歪んだ科学  
訳者あとがき——現代医学のほとんどすべてが間違い  
推薦——読者の世界認識を変える良書（中村篤史）